清明祕鈔

夢判事

全

藤村秀賀輯

清明秘鈔 夢判事 全

東都 錦耕堂藏板

清明秘鈔夢判事序

夫夢を占ふの其歳時天地之會を觀陰陽之気を辨ず。日月星辰を以て。六夢と云所謂正夢。噩夢思夢。喜夢。寤夢。懼夢。の六種をの人。漢の藝文志に曰諸の占皆仮初のあらざる而も夢ハ周の代の官あり。詩のも夢ゑの詠ずる大人占を明らかにして以て吉凶を勘さうとあり。今や僕が著所の秘鈔夢判事ハ六夢を辨解せし。周公釋夢全書を按とあるる安倍清明の秘鈔を以て猶諸書を考訂做して編輯したれば。敢て一事も私の杜撰のあらざる。童兒女子の為め国字を施し。十二門の部を分て索閲の便あらしめんと欲する而已

東武 藤村秀賀題

一 天地門
二 人倫門
三 支體門
四 畜獸門
五 禽鳥門
六 魚蟲門
七 草木門
八 飲食門
九 衣服門
十 器財門
十一 居處門
十二 雜之部

この内には月日星をはじめ海川地ぢくのるいをあつむ
この内には天子諸侯をはじめすべて人の事をあつむ
この内には髪髭をはじめからだ中の事をあつむ
この内には虎狼をはじめことごとくけものをあつむ
この内には鶴鶏をはじめ小鳥までをあつむ
この内には鯛鮑をはじめことごとく魚と虫をあつむ
この内には松梅をはじめ草花菌までをあつむ
この内には酒肴をはじめのみくらいものをあつむ
この内には衣裳の類をはじめことごとくあつむ
この内には諸道具をはじめうつはもの類あつむ
この内には宮殿楼閣をはじめ家のつくりをあつむ
この内には何くれとなく [illegible] あつむ

一 天地門

藤村秀賀輯録

▲日ふところに入るとみれば貴き子孫生まるべし●朝日のぼるとみれば子孫繁昌すべし●夕日くだるとみれば公事訴訟の事にて負くべし●月蝕とみれば妻兄弟に事あるべし●月輪地におつるとみれば病あり又親至付くべし▲月の光り明らかなりとみれば官職を得る●月ふところに入るとみれば貴き女子をうむ●月蝕するとみれば妻平産す▲星おつるとみれば病あり●星おちて家に入るとみれば其の家の主人に大なる災来るべし▲雷なるとみれば官位にすすんで出世●雷におどろくとみれば仕官につきて苦労あり

雷「ヲヽ方よう来るとそれべ高ふ利まう・雷天ふのぐるとこれべ私宅ぬ私せぬ▲電みてらさるとる所へ・ゑうつべく怪びどまう▲雨みまとこれべ洪食をのらべー・ゑうつべくとこれべ病祖まう又まを分の祝まあみうまひどゑ」

▲雨ふまあ老傘ゑくぬるとこれべ着ゑをらうまし」

▲霧屋のうへをそるとこれべ老ゑ」ゑをまう」

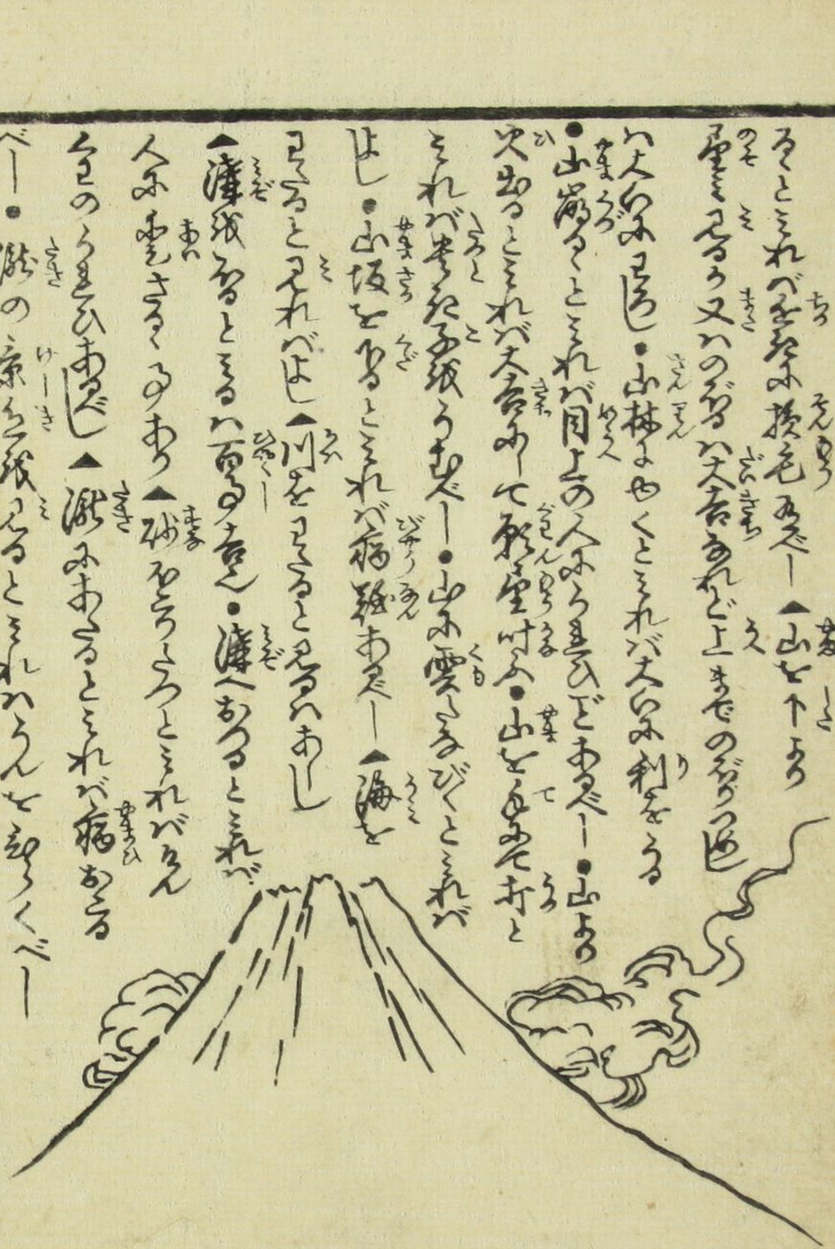
▲風ふくとこれべうまへみまるてとまう

▲雷ふうるとこれべ私宅ありべと」▲雷ふうるとこれべ病まる人へ全娘ー病まる人へ老娘をのづくるまう▲ゑうの雲ぬうとこれべ大寺のへ・紅の雲をとこれべ出ゑを

ベー・雲ちふ老るとこれべ病るのぐべ」まう・ゑうべー・ゑうつべくぬべ」▲地さうるとこれべ洪食ぬ服を沒ベー

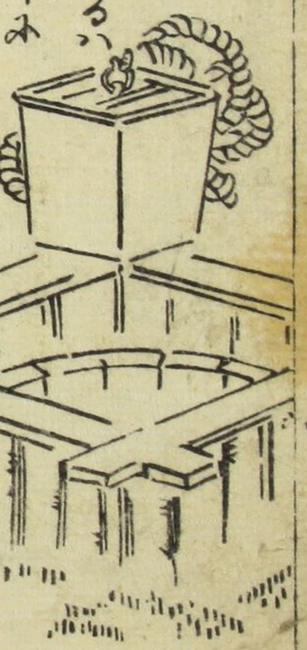
▲地さうるとこれべ結婚の後ふつべ」・地うのぐるとこれべ友後ふまむ・地とのぐるとこれべ口老ごまう・地ふ凸凹まるとこれべ見ぬうのぬ髪くとまう・地ふ平衡まるとこれべ洪食をる・地よふまをとこれべるごまう地をりた埋めうるとこれべ老ごまう地震ーく家うごくとこれべ公るあゑ老▲地震ーく家うごくとこれべ命ぐ」・地震ふまく洗うるとこれべ命ぐ」ふみるとこれべをふよろこべごまるべー▲地獄ふあうるとこれべバ大ふまは」・地ぐふ前男ふせあうるとこれべ今銀我う」・地ぐふ老紙ふなまふう

ることこれべをそめ扶毛あるべー▲山を下ろ
見ることろう又いのぐろいと大吉あれど上まそのぐろう色
いと大のみ利をろう
●山海ろことこれべ月よの人のろまびどあるべー●山ろ
大出ることこれべ大吉みて取生けん●山雲ろまるびくとこれべ
これべまそを取うもべー●山を見そ村と
比し●山坂をろることこれべ病難あるべー▲海を
ろることこれべよし▲川をろることろへあし
▲薄紙ろとろいろのもの●薄へあろ
人ふまさくのあり▲砂をろろことこれべろん
ろのうまびある▲漁みあることこれべ病あろ
べー●漁の糸ろ紙うることこれべろんを知くべー



▲池ふろることこれべ渡物まることあり●池をろることこれべ
漁ろ振ることまそ楽よあることまり●池の
仲小発咲ろことろう又いふの粒びとこれべ
ろをまふくー▲井戸のあることろうると
これべお陽めろどまそ利を
うる●井戸の水をろむとこれべ
池主のまろる人ありろる●井戸ふ
身をうるまとまびこよろねろ
みく強死まべー志し婦人ろうべ
懐妊まるのろー▲
●井戸の水うき乾ることれべ
つろく苦労まるう又い一家ぶんさんまる

とるべし・井戸くらをつくるとき
これ亦金銀のごとみそ幸多ある
べし・井戸をのぞきて水ありとるハ
きわめん水のときこれ亦よし・井の中み
ざるときこれ亦よしとてもくなひごとし
おろそかにするときこれ亦同下のごとし
●井戸の中みあるひとこれ亦家内みな
●井の水清たるときこれ亦病人大切に
これ亦よし●井の水濁たるときこれ亦病人大切に
親類をよぶの兆あり●井の中へものを
捨きたるべし・たもつたるきこれ扶失望疑ありの
歩めるときこれ亦よし●井のうへ人みを



かるべし・きぞ中の溜るときこれ亦苦労あるべし
●流る水をこれ亦疾あるべし●井戸
●水涸るときこれ亦人あみの大水つく
これ亦凶兆なり・川あみ井戸水涸るときと
あるべし・溝の中みな涸るときと
これ亦寿命あるべし▲溺をこれ亦
あるの身をたすくるの兆あり
▲水あるときこれ亦あみのお疾やのひ
とし・病人きそうぼ・水出るときこれ亦
吉兆あるべし・井の中へ人落るとき
▲落る井戸みの出んと一ぶ浪乱別
あるときこれ亦よし・井の中へ

繁昌なし▲我身に出て舌おびをするとみれば大いにのぞみよく叶ふ富貴なるべし若し女難あり慎むべし▲堀のうへに木生じ又は花さくとみれば吉なり
●堀より火もえ出るとみれば吉なり商ひに利あり●堀の上に雲気立とみれば世に出るとなり▲園にまきものをうゆるとみれば末さかえ人に知れわたるゆゑ苦労あれども後によし

㊁人倫門之部

▲天子を見奉れば大きに吉なり▲古人をみれば智恵出まべし▲俗人と対面して座するとみれば吉なり▲美女をみれば大吉也

▲古人とたんきを編集するとみれば病難あり▲ふるき友に逢うとみれば大吉にて老の人も発達せし▲仙人にあるとみれば必ず酒食を得る●山に入て仙人にあふとみれば病苦をのがれて長寿を保つべし●仙人と碁うつをみるとみれば大いに富貴栄るべし▲盲人をみれば病あり▲悪方より客来りとみる時は吉也 客来りて相を交易しまさいは夢とみれば病あり▲常に憎みし人を見るはいつも来らば大金を得る▲神仏に参詣するとみれば大いによし▲乞食と喧嘩して打擲するとみれば吉也 商に利あり●喧嘩して人を殺すとみれば吉也●我人に殺さるると

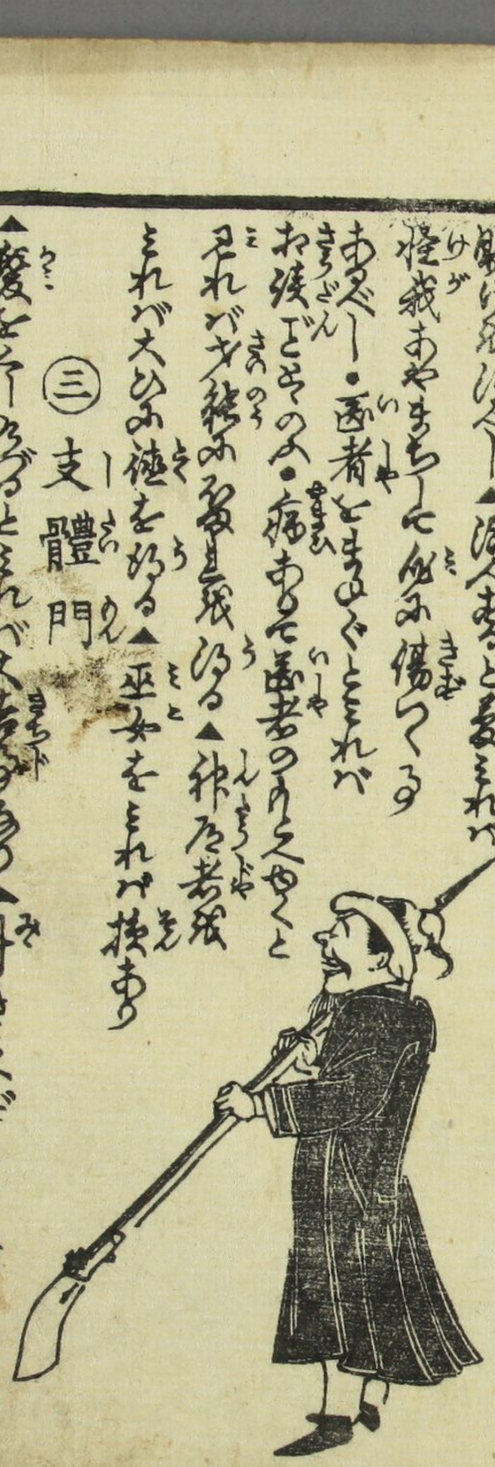
これが金銀を得べし▲夫婦・兄弟と離別またこれが換毛あるべし・人と争うことこれが家をもつまた・他人の堂塔しておおうことをこれが旅行をとまるものあり・人と宝花しく物とこれが酒食をうる▲刑罰のあることこれが喜ぶ衣服を得る・刑罰のあることこれが悲しむのりは毛ごと喪あるべし▲強盗まることこれが酒食あるべし▲伽藍これが病難あるべし▲仏像これが病難あるべし▲牡丹はし▲驚くことこれが吉あるべし▲人の罵らることこれが大吉▲人を兄嗣とこれが病難あるべし▲農業のをつもとこれが吉あり▲田を苅ることは神に吉へ雑物へ吉へ▲農家へ行くことこれが吉ざるべし▲富者の家とのべし▲婿をもるとこれが吉あり・婿のめとることこれが大凶あり▲娘のみ多くあることこれが凶あり・婦人と

るゝ事 ▲旅ゐ出るとそれがお祓ど
ゆるとそれが病ありぞゝ楽と苦
らるとそれが苦ん人の苦ー
ゆるとそれがめん人ようまるとこまり
▲時人をまどめるう幸ふー・こゞろ
かこゝみるとそれが苦ありせをのがくこまるべし
▲流人とるとそれが苦ありう・流人
さゝく久ーる人のあべー ▲盗人家の
うち人入うとそれが悪ものをさるの兆あり
・盗賊行るのをもち出るとそれが病ひ治ま
・こゞろう盗をまるとそれが病強あり・盗賊
とはをるとそれが苦ありう泥舎を
▲盗人

吳ぬ人とお祓うまるとそれが我家
・吳服人めーとそれが大苦ありう ▲重ゝ
動け我ありべー ▲流人まると愛それば
怪我あやまちー ▲血み傷つくる
あるべー・医者をまねぐとそれや
お祓どころのみ・病あるそ医者のうえ
それがオ能のある我ある ▲神仏
それが大切の徳をかける ▲巫女をそれ
それが大切の徳をかける ▲巫女をそれ

(三) 支體門

▲髪をそーろうとそれが大吉のうあり ▲身きえおとろる附い
身のうえもあんそ悪吳ありべ ▲右のうえみ毛生ぎとそれば主死まる
とまるべ ▲右をいぐちをとそれが必人のまぎろうとらべ・指をれて血ある



とそれがみの稼ぎこと有・枝指とそれがみの有ることあり（ことあり）▲牙歯有て血口（血口）とそれが父母を喪ふべし・歯をそむるとそれがみの祝ひまたみたることあり・歯生まざることそれが命あり（ことあり）▲御ん湯つかひて血のづるとそれが軍まふあり（ことあり）・強き歯をみがきを整ふることそれがお湯でうがき利をうしなふべし▲眼つぶることそれがみたることあり・眼より光り出ることそれが高ふ利あるべし▲青人眼をそらすことそれが大吉あり官ある又秘宝のあることあり（ことあり）

▲眉白くあることそれが人のうらとあるべし・眉毛おつることそれが病難あり・婦人の美ふ眉毛をそることそれが吉事あるよつてそ若労多し▲睫えて大凶あり手をふらひあるべし▲肥痩あることそれが労苦むらひことあり・眉毛おつることそれが病難あり・婦人の美ふ眉毛をそることそれが吉事あるよつてそ若労多し▲睫えて大凶あり手をふらひあるべし▲肥痩あることそれが労苦むらひことあり・髪黒くとそれがみあることそれが幸ひあり▲髪縮みて白くあることそれが労苦あるべし▲髪白くあることそれが孫ふ愛ことそれが信あることそれが衰微をつくさず▲眉のさむことそれが

角生ふることそれべあるべし●ひの肴ふるとそれべ
▲大人気を腹とそれべ大吉ふり●小児よ
乳をあるとそれべ女の懐胎を
べし▲男女多く生ずるとそれべ若労ごと
らで来べし●男ふ面ふ生ずるとそれが

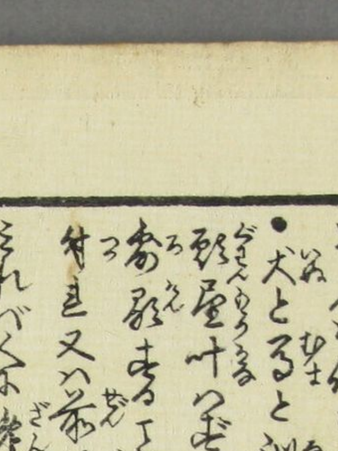
出ふり赤ひをたふり往の孫我あるべし
●男ふ生ずるとそれべ吉ふり人の助力みく
栄ふることあるべし▲鼻をくふるとそれべ大出ふり名ふ
ぞろえて我家ちえ●鼻くふりて病るとそれべ居所ふみ
つきて若労あるべし▲赤裸よふりて名我ふりとそれべ大ふる幸

あるべし▲牙ふちふ猪もあるとそれべ
ごのふつをくに吉あり●狸もつぶきく悪女
とそれべ大吉ふり▲鰕多くふりづる
ことべ大吉ふり我家を治る
▲紅ふちることべ
悪ふ古ごと発生べし
▲牙のよふ光りのづる
とそれべ大吉ふり●猫
ふり光りのづるとそれべ吉ふり

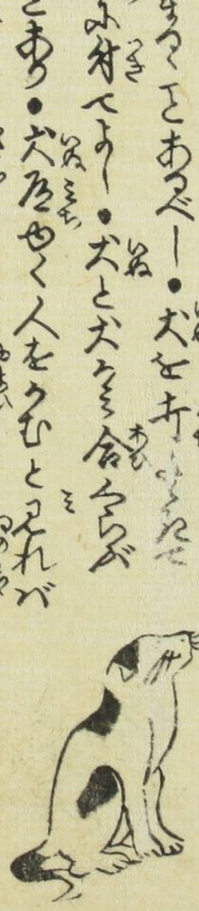
㊃畜獣門

▲犬をふぶとそれべ酒食を治る●犬ふ咬るとそれべ
金銀を授ふるのあり●犬ふくのらるとそれべ妻妾僕の

ところにおじいさんとおばあさんのうちがありました。



おじいさんは山へしばかりにゆきおばあさんは川へせんたくにゆきました。



おばあさんがせんたくをしていますとどこからか大きなつぼがながれてきました。

おばあさんはふしぎにおもいながらそのつぼをひきあげてみますとなかにはこばんやこばんがいっぱいはいっていました。

おばあさんはよろこんでうちへもってかえりました。

▲馬 食せるとき胃の官獄みちるをとあり・ゑみ
徹おくとゝまびお疾どそのみべー・ゑみ
脱あんとゑる外のお疾どゆづる・ゑをはら
まるとゝれび走ぐさ換あり・ゑ繋ぎたり
とゝれび歯ひみく利をゐる・白き
ゑみ、まるとゝれび大吉あり三月生也
まべー・ゑみ繋つくとゝれび大ゆあり
家破且て秘宝数私まべし・首あり
ゑみのゝとゝれび宝我ゐる・物みの
そのおゑみあり・ゑをとゝれび大安みらゝ
ゑみ、おとゝれび吉あきゑみのとゝ
令我あゑるとゝれび走我生也・厩舎みて
ゑ我かりるとゝれび

▲牛 牧の多あり・ゑみ鞭ゑまるとゝれび奴業
繁昌主業者の学問走む▲牛
多みの走るとゝれび家主みて未大み
よー・牛純をゆくとゝれび多来
ゆゑをもみ・牛門を当ると
ゝれびよゐとゝもあみあり
・牛を教して肉をゆゑとゝれび
大宝我多べー・牛みをゆむとゝれび
牢むとゝみゆく付み・牛の角み血ゐる
ゝれば官位走くゑる・牛山坂み走ゐると
大吉あり家富む・牛人みゐれつくとゝれび
由多能せむ・牛走のうへみあゑるとゝれび

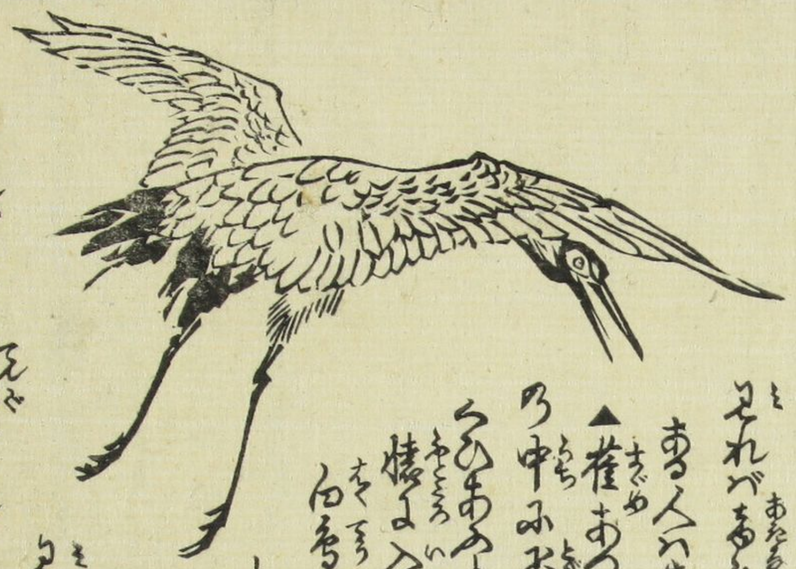
●牛を初めて見よとてそれを見れば牛利あるべし▲兎をそれば憂をとりまぬる●猿
夢にみるとそれば友信まむ▲猿をそれば
まぢく公の祥招のあるべし●白き猿をそれば
大吉友人の福を得平人は福有みあるべし
●猿人の衣をきようとそれば必ず家ろぶ
▲狐をそれば人のうそびを更る●白狐をそれば
めでたうべし●小狐のおどをそれば悪事
▲痲を愛それば吉●まぢくみ数ひ
●痲を数ともそれば必ず人をうとみる
らふとそれば吉銀牧宝を得る▲まぢく書を中るなと
それば吉●書るいを教ともそれば害有
来数を得るとあるべし●書るいを教ともそれば害有

ふり酒食を得べし●書るいをそて
ものうとそれば必ず奴僕
或は女の歌舞とあるべし▲歌よのうそなよ
のうそとそれば害有べし
●歌よのうそなよ
のうそとそれば吉をふ
●まぢく赤き歌をそれば藝を
得べし

㊄ 禽獣門

▲鶏冠をつぶるとそれば大吉あり歌
笑るとそれば必ず口舌あり▲鶏を
免さるとそれば妻をうしなふべし▲鶏鳴
をそれば害をふとうの便り

あり・豬鵆ことをきらふとそれび
月のうへの人ふ病あり又死亡みらるび
▲乘人の歌ふのうとそれび災あり
・ふくろうを捉ぶとそれび病難あり
▲鷲をそれび物のひとうるべー・鷲ふ
それび吉をふ失ふべー▲雀巢ふ
ちんのをふ人の歯とうるべー歸く牡ことざべ人
結べーとあり牡もべーことを吉爰ふくろく悪爰ふ
ふくろうを捉ぶとそれび病難あり
▲鷲をそれび物のひとうるべー・鷲ふ
それび吉をふ失ふべー▲雀巢ふ
ちんのをふ人の歯とうるべー歸く牡ことざべ人
結べーとあり牡もべーことを吉爰ふくろく悪爰ふ



そればあるのふ利あり・豬ふ爰のとそれび女性
ある人ふ吉うり平人ふ利ふ名換ふとあるべー
▲雀ふまつまるとそれび家業ふ
ろ中ふ死ふるとそれび公うり移ふのうとあるべー・雀
ふひあるとそれび女ふをまふくべー▲鳥鵆
情よふるとそれび家業ふ
白うのふ新ふ
とそれびをふ牡びうふあるべー・爰ふ
ふみうるとそれび牛吉ふ▲鳥をうるとる
そればは▲天狗をそれび吉ふ牝よふ
新ふ病ふあるび・鳥ふろこびうくと
ふそれび病ふ酒ふをる・鵆をそれび大吉ふ

㊅ 魚蟲門

▲龍をみれば出世の主あり ▲千両銭みれば其の年出世あるべし 又小人は水あらそひし ▲井の中に大魚あるとみれば家繁昌する ▲蛇にとらるるとみれば吉左右金銭生ず ▲龍を矢にて射るとみれば大吉なり ▲魚とるとみれば善事ありと知れ 又萬事をみれば住宮 ▲蛤をみれば吉 ●蛤龍宮をみるとみれば大吉なり 但し人によるべし◐

◐斗らるゝ主あるべし ▲蠅多く集りみれば不器量にて住官ありとみれば 嬉しき事あり ●蠅身うちにとまるとみれば☒

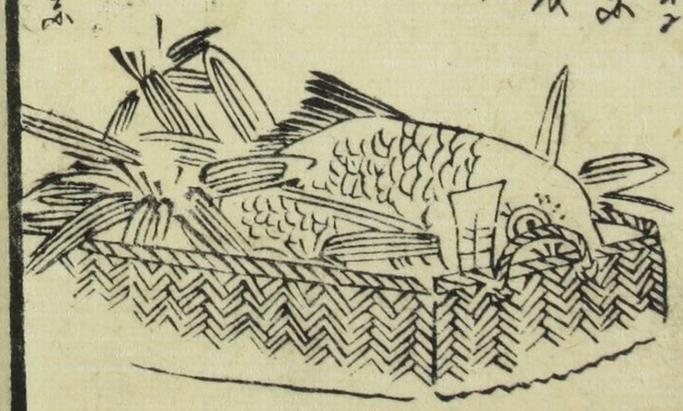
☒酒金銭拾ふ ▲蜂の巣をみれば万の金銭生ず ●蜂に螫るるとみれば人と争ふ事ありて ●蜂の巣を螫るるとみるは吉事なり 金銭をひろふべし ▲蛍をとるとみれば万の事吉なり ●蛍袖にとまるとみれば人の重敬をまねく ▲龍水中にありとみれば高位に昇る事よし 未だ出世の中にありとみれば仕官の人は損なり ●龍井の中にありとみれば仕官の人は技芸にてよし ●龍身の内に入るとみれば官禄あり ●龍天に登るとみれば後悔する事あるべし ●婦人の夢に龍をみるは 大吉なれども深く慎むべし 慎まざれば却って後悔する事あるべし

吉し貴人に逢ふ事速し●自ら我身を化すと見れば大吉人立身出世速し学者
凶も名利にまよふ事自然に治るべし
▲蛇刀を帯と夢見れば大吉なり縁を
もとめ妻室を得る蛇に逢ふと見れば
妻に別れ我抱くの事あり
●蛇に喰るゝと見るは吉なり仕官
の人はよく職にうつる商人は
家内の利を得べし●身手又は
手足に蛇まとひつくと見れば大吉
富貴なるべし●又蛇のまとひ付たるを
見すちと捨ると見るは凶なり身にうらみきざす事速し▲鯨を
見れば身の長と成べし●鯨をくらふと見れば吉なり●鯨汐をふくと

出家などは天下に名を
あらはすものなる
べし

見れば吉し立身出世すべし
▲蜘蛛をみれば吉なり旅人より用ひ
らるゝ事あるべし●待人きたる●蜘の巣
多くなるとみれば万事につまづく苦労
あるべし●蜘の巣くまなくとみれば病るなり
▲鯉をみれば立身出世すべし●人より鯉を
もらふと見れば幸ひを生ずべし▲鯨を
みればお役をするなれど居所につらき苦労あり
▲鶏を其身にみれば幸ひ来事よりの縁あり●鶏を
くらふとみれば故人なる事あるべし▲蜈蚣を夢にみるは
仕官する人は出身の技能にて吉事ある商人は吉なり
利を得る事あるべし●又百足にさゝるゝとみれば長命をつゞかざる

▲魚の声 ちそうみ ゆくとそれば病難まぬがれ
ゆかとくるも ゆきりに吉ゆえぞ ▲朝飯前
利を好むべー ▲まだくの魚ありよみ
ゆきのお膳どさのかぎに吉多ー • 魚
おそべとそれば役ゆみうそ手柄まべー
絶まることそれば老人み利ひらくことあるべー
• 地ごろ魚ばからふとそればをを方より
あるべし • 魚をそらふとそればお場合
みく利ばうべー • 魚おどろくみ入ると
それば三分出世 ▲我身魚
化ー うとこれば ゆきりの ばう宝 まべし
▲亀井のうちみ おべそれば大吉あり • 海亀



▲今とそれば ほびど来 • 亀をそらふと
長命をつくさる ▲池へんど魚と魚とる
宝船ばえ 已しあく ▲網を下ーく 魚をる
大吉あり ▲けら地虫のををそればむく
▲婚姻あつまるとそれば病ひどばえる
▲海坊むうぐりふと大吉あり
▲法螺をそれば利ばえる ▲まだく
魚ごろの ばえるとそれば離別
まることあるべし

七 草木門

▲槻の樹をそれば他人のことみつくそ
それば来教みものー ▲松をそれば
大吉あり 宿往まぬー

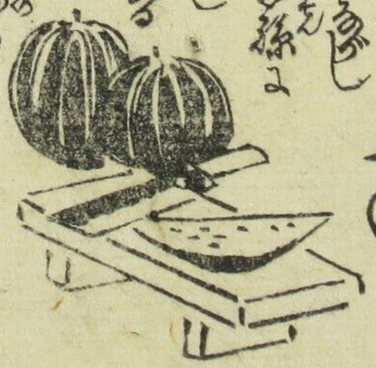
●松（まつ）これをとらんとする人（ひと）利（り）運（うん）みけふ〳〵
きまり居（を）る紙（かみ）うへまで▲松（まつ）を
これば命（いのち）のびし▲葉（は）の赤（あか）紙（かみ）それば
●葉（は）の緑（みどり）ちくとこれば一万（まん）
お後（あと）のうち●葉（は）の赤（あか）くなりとこれば
残（のこ）りの▲まつく松（まつ）を折（を）るとこれば
まつの利（り）あり●移（うつ）る木（き）松（まつ）るとこれば
つゞく若（わか）あり●松（まつ）木（き）屋（や）のうへの例（れい）
●松（まつ）る若（わか）とこれば孫（まご）そん
とのこる紙（かみ）結（むす）べとこれる若（わか）
これるとこれば病（やまひ）あり▲松（まつ）の若（わか）さ

●柏（かしわ）の若（わか）
これて盛（さか）ん
あるとこれば学文（がくもん）そむ
▲池中（ちちう）み蓮（はす）の若（わか）
咲（さか）うとこれば生（うま）れ
の紙（かみ）生（うま）ず●蓮（はす）をうると
これば人（ひと）みねるるとあるべー●花葬（はなそう）の
あく栄（さか）うとこれば病（やまひ）あり
お後（あと）そのべー▲楼（ろう）をこれば
うつくしの紙（かみ）生（うま）ず●楼（ろう）かまうと
これば楼（ろう）もあり▲竹（たけ）をこれば学（がく）まむ●竹（たけ）のそうとこれば
病（やまひ）あり▲まつく若（わか）それば命（いのち）ながし

●白柏（しらかしわ）の枝（えだ）み入（いる）るとこれば
女（おんな）あり●柳（やなぎ）み実（み）紙（かみ）むすぶと
これば生（うま）れ●紅柏（こうはく）をこれば

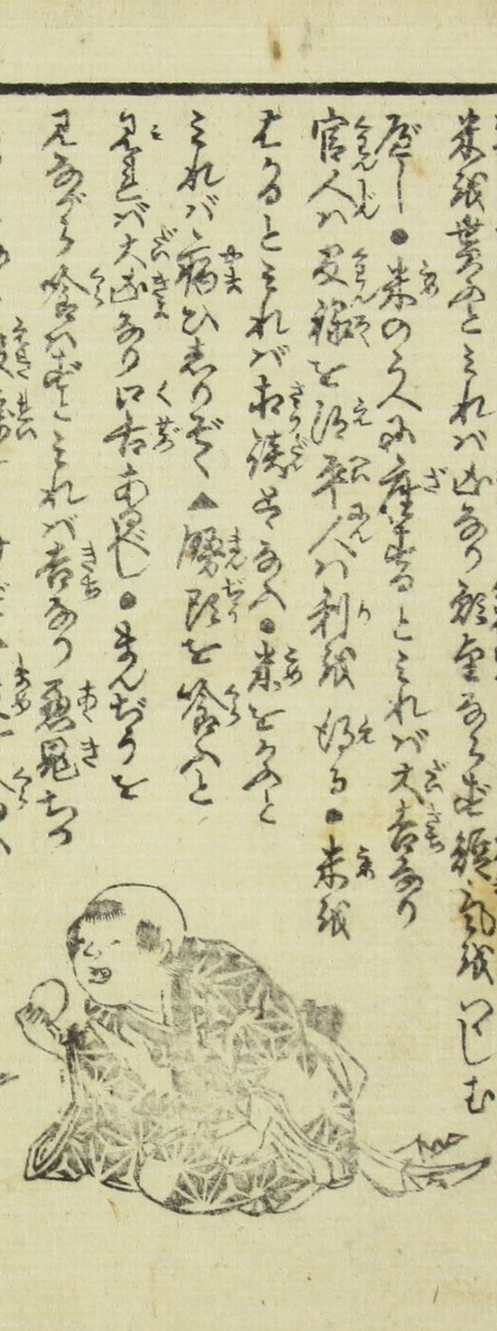
(八) 飲食門

▲酒盛造るとそれが客むことあり・酒を
それが人の悔らく▲酒盛を葬ることそれが死亡の
あるべし・酒を燒とそれがみこんお嫁契約
ありと破る▲酒盛葬るとそれが喜ぶ寿命あり
▲酒を勧とそれが喜ぶあり・酒勧甚だしとそれが忘年
よし▲魚肉をくらふとそれが吉ん万事安楽あり
・まるる魚肉をくらふとそれが吉あり・魚肉を
捨ふとそれが人の恨ることを好る・魚肉を
作るとそれが吉ん俳諧歌曲の人それを

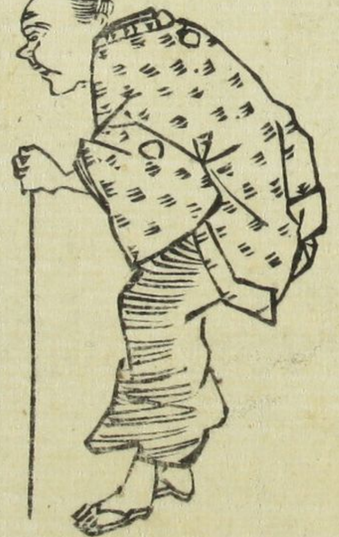


寿命延ることあり・酒をのらふとそれが吉
好べし・酒盛を人ふ迎るとそれが永楽門
・酒宴を命ずとそれが
火ふそることあり・庭のよふく
酒を吸ひ家破るべし・人形持ぞ
酒をのむとそれがよし▲破紙服と
それば親友朋友とのぎりもを命て
ごとふ金▲反物買うさうんあるとそれ
紋を汚るふ又ハ病者或ハ死ることの
あるべし・文書の疑ハしきことそれば

熟せざるとさるれバ病ある者そこと死る也▲人まろ
茶紙茶のとさるれバ心ありて能望あるべし▲茶紙
茶ー●茶のうへの事をさるとさるれバ大吉あり
官人の文書を汚す事人の利欲好る●茶紙
むるとさるれバ女徒さる人●茶をうみとさ
るれバ病ひあるべく▲腰痛を治ふとさるれバ大吉
あり口舌あるべし●きんぎうをさるとさるれバ吉あり
よるとうく疫病をうみ▲茶を治ふとさるれバ
多く積金とさるれバ都おとろ人義私まるとさる
ハ凶し▲茶紙さるれバ茶を方の縁好まるう又ハ



ちさるとさるれバ人ま別るべし▲茶をさるハ吉あり
▲茶の紙のうへとさるれバ吉事生ず
茶ー●茶をさるとさるれバ縁談
のつのう又ちさるとさるれバ生ず兆あり
●茶をさるとさるれバ大のふ
あーく茶雨よるべー▲大根を
さるれバ大吉あるく物の栓帯とうべー
▲粽をさるとさるれバ運つはし●粽を
送るとさるれバ運つをるとさるべし▲羊羹の
なとさるとさるれバ生ず●俗人物
今銀みつをるく若労あるとさるべー



㊈ 衣服門

▲衣服(いふく)のづうら脱(ぬ)ることそれば
万々万端(なんとーちんえん)よくそのひくきこと
如世(もうせ)るそだし・衣(い)るのをそだ
らうと思(おも)ふそこふあうろうと
それば今(きん)般(ぐ)の運(うん)落(らく)うだし・衣裳
もちまち破(やぶ)るとうるそれば妻妾(さいせう)まうそ
るどの喜(うん)をまるこまだし・衣裳(いーしやう)風(ふう)よ
うそれば他人(さふにん)のことふかりて辛労(しんらう)多(おほ)ー
又(ゆう)病難(びやうなん)あるだし・あろうふ衣服(いやく)を
そらくるとそれば縁続(えんぞく)どそのふ・衣裳の
ろうそ残(ざん)このおとそれば必(きま)ありて離別(りべつ)よ
さるう又(ゆう)女難(にょなん)あり又(ゆう)婦人(ふじん)のうるうそ
縁(えん)談(だん)破(やぶ)まるこう又(ゆう)故(こ)郷(きやう)

●衣服(いふく)を洗(ゆ)うとそれば活命(しやうめい)を好(よ)
あうるとうるそうふ必(きつ)ず安楽(あんらく)あろうぬとあり
浴(よく)婦人(ふじん)をまる私(わたし)のことあだし・婦人(ふじん)の
髪(かみ)よふそ衣(い)紙(し)まるとそれば
ふうろう足(た)して恐(きやう)義(ぎ)亡(ほろ)れふ
不義(ふぎ)理(り)のう出来(しゅつらい)ぬべー
▲糸(いと)紡(つむ)績(ぎ)とそれば長命(ちやうめい)の
兆(きざし)第(だい)一(いち)うつーそよし・深(ふか)うる糸(いと)を
それば必(きつ)ずう世帯(せたい)苦労(くらう)多(おほ)ー・糸(いと)うる
うとうそまだ他人(さふにん)の妻(つま)あだし
織(おり)とそれば女(をんな)の吉兆(きつちやう)多(おほ)ー・機(はた)
織(おり)ようそまだ他人(さふにん)の妻(つま)あだし又(ゆう)人(ひと)ふ歌(うた)

これべよろひ師のことなり・羽織
つゝそで袴あり▲布衣水干
狩衣・布衣織とこれべ縫様
・布を裁ところをこれを妻ゐ離別
まくのまうけ書ごとあり▲縫
まるとこれべ万ゐ結ぎをよし・第ものごと
ゐるところこれべ投おのこゐるこゐ金銀
数礼ものことあり▲縫を業ゐ
これべ縫様のことあるべし・裁ひ
ゐ紙生ぎ・縫を人ゐ書ところ
ゐ紙をゐみ投あるの法しきり▲おらひ
そところこれべ俗ゐ投まゐあり・足袋教ところ法ゐ孫又ゐ妻ゐ

病あり▲さごひゐ金らんの縫を分みまらところこれべ他人のそゐことを
うみ指まるとあるべし・又雇縫を人ゐ縫るところこれべ奉さろべし
▲袴紙縫ゐところこれべ書ん縫様ご縫べし・袋をゐらゐと
これべ高ひゐ利あり▲裏をきるところこれべ大必ゐ
ろべし・裏をねぐところこれべ大必ゐ
▲未縫をゐらゐところこれべ中みゐ
うらねとあるごとく氷のねるごとく
次第くゐ紙みまちべし・未縫
を織ところこれべ染むとあるべし
▲衣冠をよそゐところこれべ袖縁
宿佐みのぐら・衣ぐ一所中を先ゐと
これべ宿をゐるとあり・人ゐ冠帽ゐを業人ところこれべ大吉あり

●まふたく物我しるのをとそれべり人をそーるあり

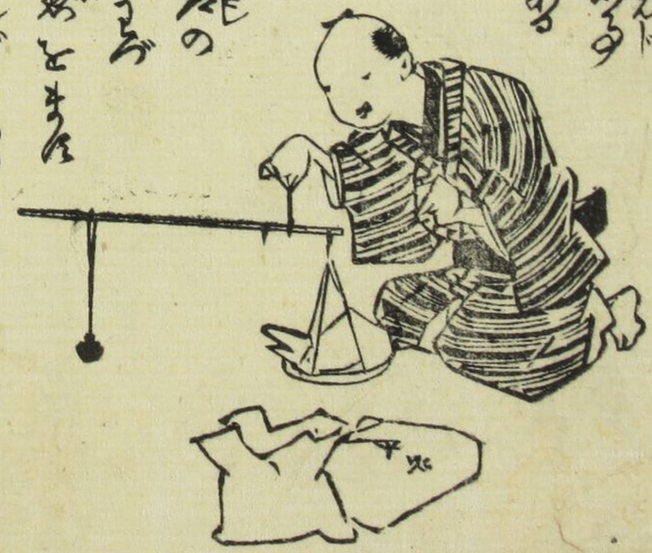
㊉ 器財門

▲秤をうるべ公ゐ称のことあるべ　為ゐ正直みーてはし又人とあうそひうまゐあるべー絶て勝を求めぢ」て自らみ利

あるべし●秤ををるとそれべ大のあるべー▲指揮をうるべ一分のうけ笥みく金銀を惜るとあうと

●人ごと人の指ーをを汚べー▲刀組着のまゐ我み中みあ未とそれべ妻子みのみつべらひあり●脇着を着くとそれべ着るあをを生ん

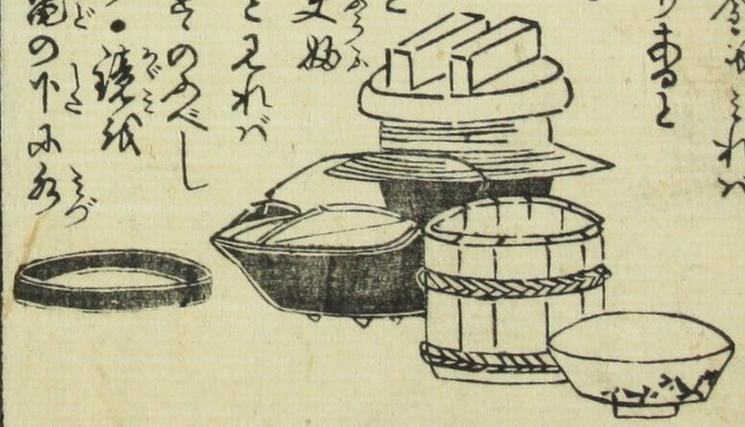
●町人百姓の着み刀組うゐ我常とそれべ考あり



泥金我汚べー●指我ねをくるとそれべ心あり病ゐ文ぎ●ぬ人の着みカうそざを佩るとそれべ考のみーてゐ我まゐくるとあるべ」

●人ふカをおうるとそれべ大事のあり●カを矢をとそれべ実我着のことを回どるあり▲汚事をセーらゐるとそれべ一郷離着まるとあるべ●多くの着の考我あみ来るとそれべ金銀み指をうり指めみ指ーまべて指ーべ▲弓鉄砲の指うゐのまゐ我それべ共命の指あり●用ごくおをうとそれべ心月の用み指をうり指めみ指ーまべて指ーべ▲陶着我それべ半着の湯み用ある所の指乃具をそれべそのう家必老着着まべーあり又手元役月み空るとあるべ

▲桶のうへの紙ころ〳〵ころがしまはしてあるべし▲綿拳大きものその家さうろべし▲甲冑傍りまるれば大きなるひでゝ叶ふ・甲冑をきるとてそれがあしし・紙をかのかぶとの緒そへ入べし大きなる兎をうろる▲燒物傍りまるとき高きの人ふみあらるゝことあるべし・燒物をとられがたき兎をうろべし・燒物をとられがたき離別まるゝことあり・燒ふまるゝことあり・燒物をとるまじ・燒紙夢にとれば勝負ごとそのべし・燒紙みづからとれがをかたより燒のあり・燒紙人ふみあらるとそれが妻ふみんまじ▲竈の下ふみ

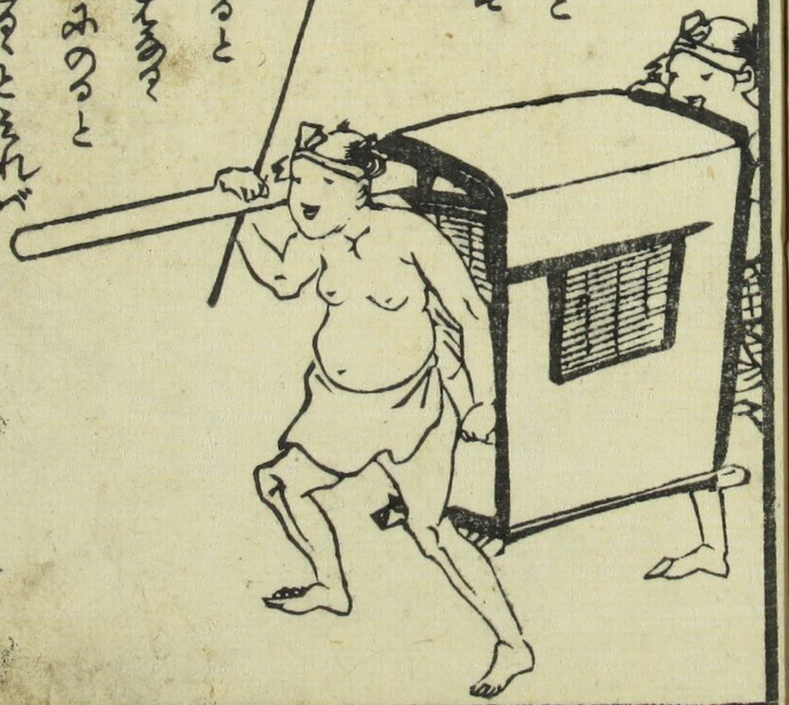


▲流るゝとそれが金銀よつろく若男女名をあぐることあり・竈又は鍋釜のさびたるを・竈の下ふみ火紙ふくとそれが成就せ▲十善惡紙るゝ心ありて・竈をつくとそれが大吉のべし・竈二ツありとそれがふみ・竈の下ふみ火紙ふくとそれが死亡・新らしく竈をつくとそれが大吉のべし・竈の下ふみ火紙ふくとそれが死亡・新らしく竈をつくとそれが大吉のべし

▲机をとるゝ吉なり・机のうへふみ書ありとるゝ吉なり・机のうへふみ書ありとるゝ吉なり▲妻紙とるゝ吉なり▲妻紙とるゝ吉なり▲杖をとるゝ老人へ

さるとこまり・あるき人の杖をつきまぜなどしてあるく
づるあるく・▲延紙鳶とそれべ空まで
仍ゆよつくく苦労あるく・▲飼猫それべ
▲鼠をそれべみつり我家蔵れ
みつりあの皮宝仕ぐるとあるく
それべりのごとをあらぐるく人のく娘
まるるあるり
▲琴のると
それべみつり事
み離別まるあるく
●家おみのそ招びみ
好とそれべ仕友の人へ

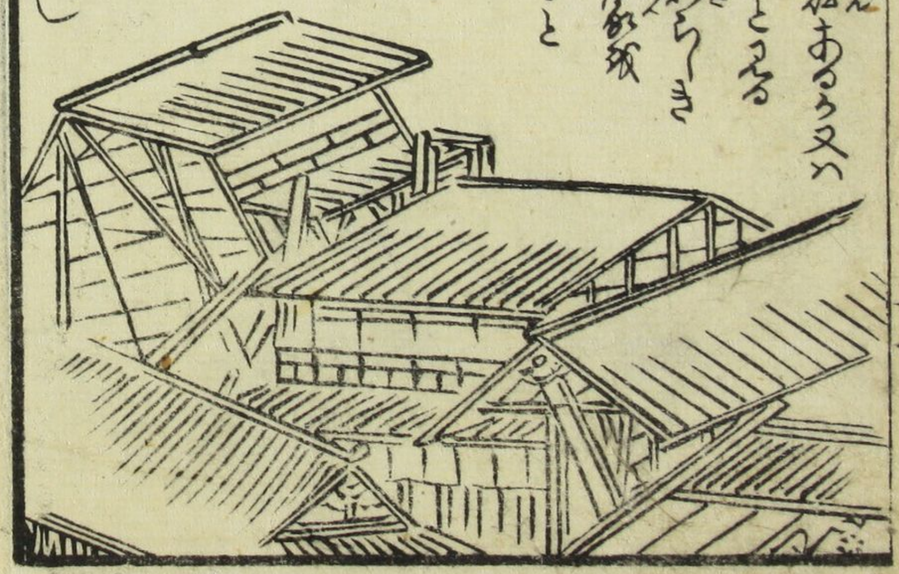
宿猫をまぜ起く年人へ公多
猫仏の幸労あるく
来へ去多り・琴みのそ門よ入ると
それべみつり血肉よ病疫えぜ
・琴ろろぐるとそれべ去まり
出まぐ・琴の中
み人多とそれべみつり
鳥ごとあるく・家の紙求むると
それべ仕今せよろく▲車の輪まるく
とそれべ更帰離別まぐ車みのると
それべ渦多紙好る・車軸をるとそれべ
ろひご竹つぎ▲私みあまとそれべ



とみつゝをて世帯若旦那べー・船よのうそ
川狩ごろるとそれべ狼狽をゐるべー・船よ
のうそ酒をのめべき方よりの狼うもべー
●人と囲船まるとそれべ狼狽おつそ若旦那
あるべー・一家の人等く身よこあるとそれべ
大らか損失ありてお船をうしろふ・病人
身よのるとそれべ病危ー・船の中みそ
揺るところまでべ狼狽あり・船ろゞう酒
あらし・ろ川の女郎あり又囲船のあみ
ざるさまでく損失まるとあるべし・船先もくと
それべ名をあげ箸をゐるべー▲琴をそれべ
ろれ妻をおめゐるべー・琴をとそれべ

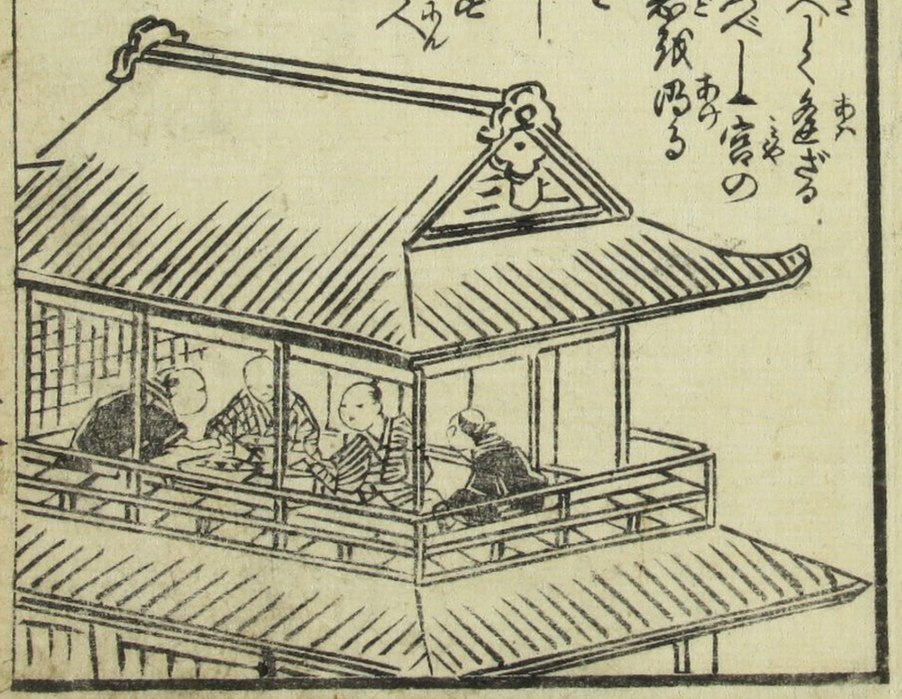
女郎あることろゞ客ろるべー▲碁盤
うれとそれべ客人ろの足もーみあゞうそ
出世あるべー・碁の助言をもとき
それべ狼狽るべー・碁をよつそ碁ひゞ来る
べー▲三味せんを弾くとそれべ客ひゞ来る
おびゞあるべし・三味せんのねうあびし
客ろそく狼狽ろつそく客あるべー
▲ろをめて人を射るとそれべ客方へ
狼狽まべー・人ろろみそ
射らるとそれべ客方より後ろ
あるべー・人ろろ弓矢めらんと
それべ他人の世帯みろべし・ろを

●家の棟をたゝくとそれべ主人の病強あるゝ又ハ
死亡のことあり●家破壊して住人なし
●病人よろしくお經ぢんをよむべし●新らしき
家の棟あらたまるとそれべ繁昌し●家祝
それべ運つよし●家祝 掃除をするに
とそれべ把の長とゝのべし●家祝
●普請をするとそれ附合吉
万事のお疾多ど指てあそく
吉半ひくくはし●家事多みだる
落るとそれべ大吉の事●高樓の
上より堕るとそれべ吉ん吉成出世
のべし

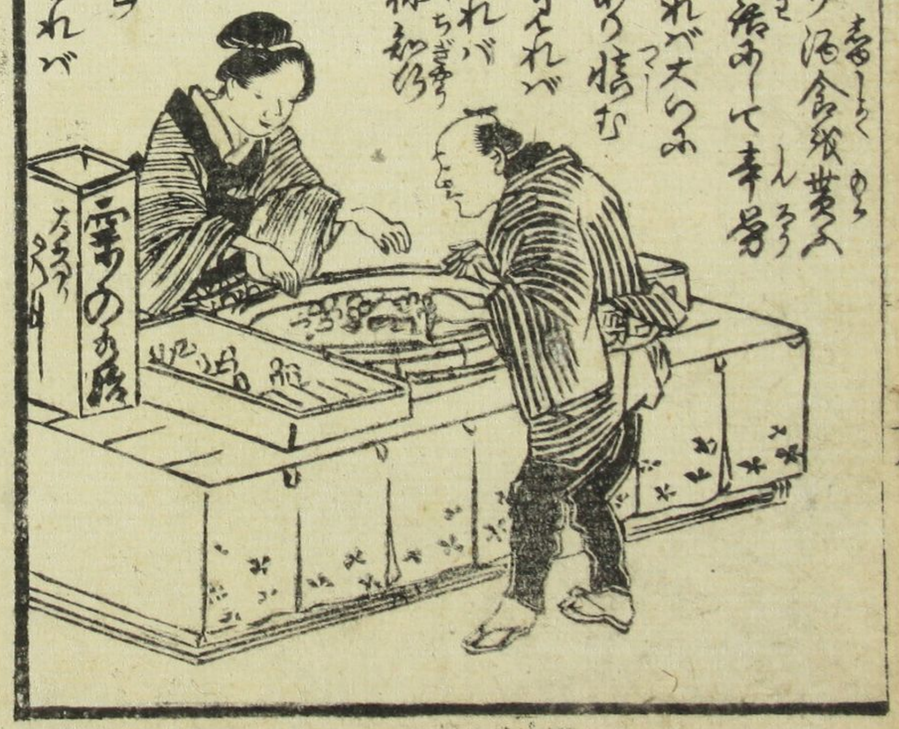


●樓上より酒を吸とそれべ吉久しく
人ふあべし一万事お疾ごとよく治べし
肉ふ入とそれべ吉事を司る▲家祝
とそれべ吉事方より依あり●家を
ひろくとそれべおひごとけべし
●家をふさぐとそれべやひごとけべし
▲門祝ふづるとそれべ家内ふ病人
あべし●門をひろくとそれべ
盛雛の指ミあり●家つを
ふづるとそれべ大吉ん
吉事のきざし

㊦ 雜之部



▲帝の兄和銭うるとそれべ他より酒食
●帝の兄和銭うるとそれべ人を世話して幸
まることみべ●帝より当るとそれべ大ら
銭宝銭数百文くるみ連よてまあり指お
ぐー●帝の中の酒を吸とそれべ
やひようぬ幸ひあり娘指まざればバ
却ッて災とあるべー▲菱み猿あり
おと世ふとそれべ苦労をまま
●猿を人みあさるとそれべ病
ありぞ死患みさる▲指のようく
人をよぶとそれべ公の役人のみ
あり●又ばみ急る人あるとそれべ



利銭ばべー●指の中なるとそれべ病
急指のみつきて苦労まべー●指の指おくと
それべみ猿あるひおみ病ひおばべ●指を
造るとそれべ彩色成就まべー志ビくみ歌さ
るエあり指もべー如学者出家などのおく
此菱をそれべ十分みまん●指を渡るとそれべ
猫胴の猿あり▲墓石の病るとそれべ
まきまん指ごとそのひきを方へ旅とあり
まるとあべ●菱まるとそれべ苦しみ
食銭ばべー●菱ごろ立て指あのごとく
なるとそれべ大吉ん当身出世まべー▲木偶
をるい大出あり病難死石のまーんろく

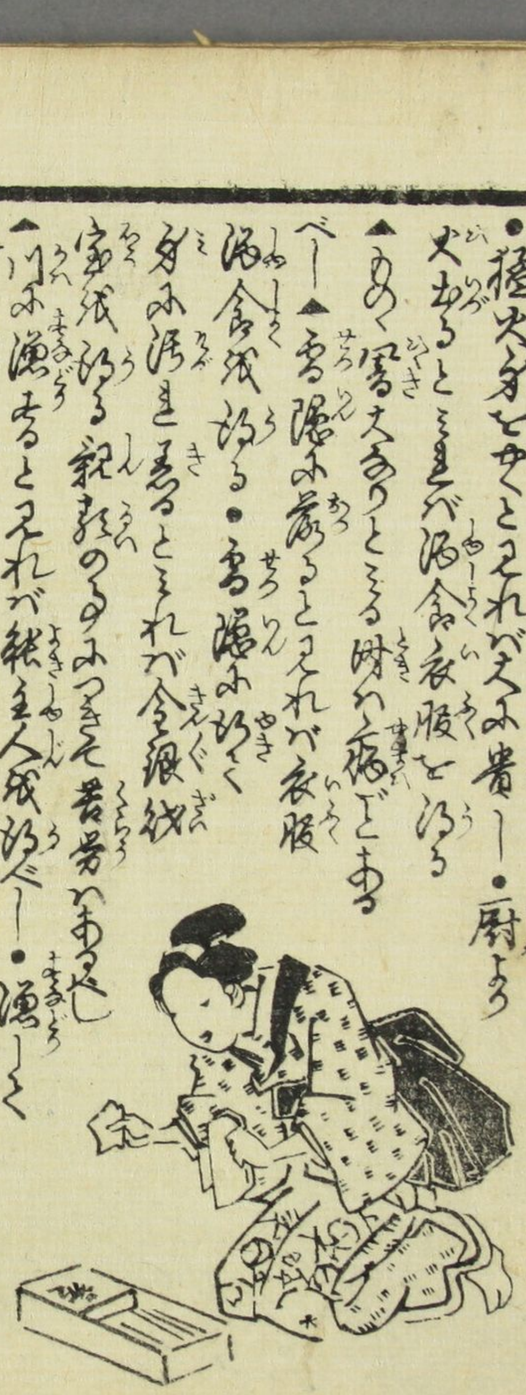
住むべし▲法会の席に出るとみれバ吉事あり貴き紙を生ずべし・仏を
拝むとみれバ大吉也病ひ退き福助をうべし・仏のまへにとみれバ凶事あり
病難あるべし▲経文を読むへ吉也人に用ひられ万芸
経文を書き紙を納る▲堂をとり大ふあるとみれバ金銀銭宝をふやす
▲御ふみ又へ物をみるとみれバ其の内へ世話苦労
多し▲数火にあふとみれバ其の
縁がる兆あり経紙紙
凄しとみし・自火紙出来ると
みれバ酒食にえんあり▲鬼と
ともに勝とみれバ吉也長命
あるべし酒るとみれバ酒食
をうるまたく悪紙

夢をみるは吉兆也▲看経紙書くと
みれバ憂ごと去るべし・戒をさづかると
みれバ公事ごと去るべし▲珠玉紙
得るとみれバ吉事あり忠孝の子
又ハ仏神の子なども来るべし吉事あり
巳が親に別かるる事ありとも
まさ災難なども見れバ大悪
夢とある世人損失あると知るべし
・かつを重ねてふのごとしとみれバ
口舌ごとあるべし・珠懐にいるとみれバ
人にそねまるることあるべし▲宝紙得るとみれバ
子を生ずべし・口より宝紙吐出るとみれバ他人の世話よ

るとまり▲葬送をするいまぞく者汎ん万々のお後よく
悔つべー●乃ふさく葬みめいあとと
これが病ひの利まり▲まろうみ
汚とうまべ酒食の等悪み
まべー●妻子おつまり汚と
これべ病雑美周みつ尼し▲繕うそ
死とこれべ例の夢多を追善
書書ーん病汚発くみ今夜
まべー▲枕元り且らるとこれべ
衣食銀汚べー▲糞を着みとこれべ
食銀紙宝銭汚べー●糞み多みうると
これべ者ん●小役多みかるとうまべ大ぬん

●糞の中み生まるとこれべ大ぬん
夢又と絵ぞさみぐの幸労あ尼し
▲病ひ重ーとこれべ汚食衣類を好る
●病人汚とうまべ病食ぞ●病人衣服を
汚むるとこれべ病あし●病人面あらうとこれべ
病まうぞくし▲今夜拾てうまべ十日を
出ぞーて換毛まうまぞく今銀をうまべ
換毛う又い病雑みありてお肉み
ようまで▲湯あしてお足絵あらうと
雑まうそく▲洗文を飛の数絵そ
まう●洗文を焼とうまべ汚食を
これべまものみ利まう●火地より生まるとこれべ新至付ふ●火をふ

山野を焼と云ふべき天下の名を揚る●
猟あるべし●大火天狗焦ともいふべき
●猛火多きをもとこれが天の災ー●厨よ
火あるをもとこれが酒舎衣服を汚る
▲あめく雷火のごとくなる時ハ病ごとあるべし▲雷陽の気あるをもとこれが衣服
酒舎汚る●雷陽の気
多み酒をもとこれが金銀紙
家宅汚る親類のものみつきそ若労なき
ハ水の漏るをもとこれが紙を人形汚るべし●漏ー●
悪鬼多くなるをもとこれが争ひごとあるべし▲雷雨をめぐるをもとこれが百人の仲ごと
友縁をうまるう又富貴をうまるう又富貴をうまるう

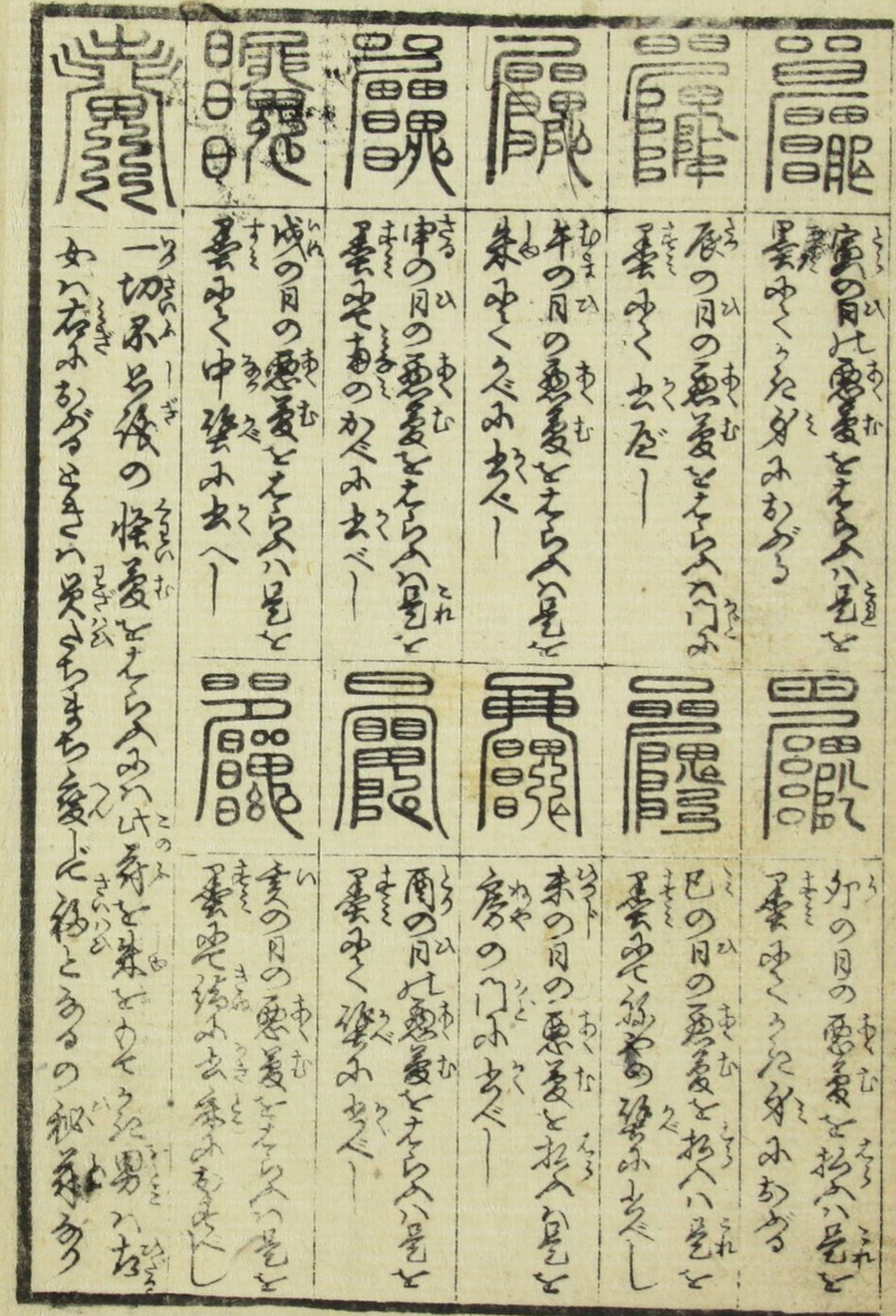


▲記天王の像を洋ともとこれが命長ー●仁王の像を洋ともよふほー▲書画をそのものをもとこれが大勢悪鬼生ま▲産の紙をさくとこれが十分み付ま

右ハ安倍の清明の著ま所の陰書秘集ー且孫ま人が調ん外編或ハ皇帝内経素霊秘蔵純用全書ま所の陰書み抜ま
ー臺蔵の修りみ抜へんとまれど外愛ハ千愛方此みまざ抜みまざ抜ま
を判ぎること好要ー用ー愛ことびとく真吉凶指分ま遠ふよふく勘人判ぎー

○悪愛をそらふ篆符護身の秘法

丑の月の悪愛をそらふ篆を
朱書ま用ハ洋ー


寅の日の悪愛をそらさんが為
墨書くうた名みあげる
辰の日の悪愛をそらさんがため
墨書く出でー
午の日の悪愛をそらさんが為
朱書くべみ出べー
申の日の悪愛をそらさんが為
墨書くべみ出べー
戌の日の悪愛をそらさんが為
墨書く中巻み出へー
一切ふらーぎ
如右書きたる悪愛を
酉の日の悪愛をそらさんが為
墨書く巻み出べー
亥の日の悪愛をそらさんが為
墨書き綴み出巻みあげる
子の日の悪愛をおさんが為
墨書くうた名みあげる
丑の日の悪愛をおさんが為
墨書き綴みあげる
寅の日の悪愛をおさんが為
墨書く巻み出べー
卯の日の悪愛をおさんが為
墨書くうた名みあげる
辰の日の悪愛をおさんが為
墨書く出でー
巳の日の悪愛をおさんが為
墨書き綴みあげる
午の日の悪愛をおさんが為
朱書くべみ出べー
未の日の悪愛をおさんが為
墨書き綴み出巻みあげる
申の日の悪愛をおさんが為
墨書く巻み出べー
酉の日の悪愛をおさんが為
墨書く巻み出べー
亥の日の悪愛をおさんが為
墨書き綴み出巻みあげる
一切ふらーぎ
如右書きたる悪愛を
男女おのおのそれぞれ
▲得効方
此悪愛をそらさんが為
水を呑み含みむくく
この度こと三度唱へる呪文
悪夢著草木好
夢成珠玉
▲又一法
此悪愛をそらさんが為
水をふき掛ける呪文
赫々陽々日出東方此符斷却
悪夢辟除不祥急々如律令
▲又一法
此悪愛をそらさんが為
焼捨べー必ずぜつたいとまつり
▲本朝の古例
吉備公悪遠ひの為
此悪愛を祈りて吉愛とまつり

東武

今

維時文久二壬戌歳如月中浣稿成同初秋発市

江戸書林

馬喰町二丁目

山口屋藤兵衛梓

萩乳男狩矢前立鹿
あらちおのかるやのさきあらゝも
違聞
ちがへをまれをちがへとぞきく

清明祓ひ
清明祓ひ夢判断事終

芝神明前 須原屋茂兵衛
日本橋通壹丁目 山城屋佐兵衛
同 貳丁目 小林新兵衛
同 所 岡田屋嘉七
同 所 和泉屋市兵衛
芝神明前 大和屋甚兵衛
本石町一軒店 大平吉
芳町横丁角 丁子屋平兵衛
人形町一丁目 横山町壹丁目 須原屋伊八
浅草茅町二丁目 泉屋金右衛門
横山町三丁目 山口屋藤兵衛扱
馬喰町弐丁目

東都

書林